

## 公開ワークショップ「教育におけるバリアフリーとは」 第1回「性的マイノリティと外国語教育」を開催しました

7月24日午後、トロント大学東アジア学科准教授有森丈太郎氏を講師としてお招きし、「性的マイノリティと外国語教育」というテーマで「多様なメンバーシップを前提とした大学教育を考える研究会」の公開ワークショップを開催しました。（主催：国際文化研究科の研究グループ・糸魚川教員科研）

まず、有森講師より多様なメンバーが集まる教室で起こりうる問題や誰もが安心して学べる学習環境の創造について、自身の日本語教育の経験や研究の成果をもとに説明がありました。

その後、参加者たちはテーマごとに複数のグループに分かれ、それぞれがケーススタディに取り組みました。グループで議論されたそれぞれの気づきや問題意識などについて各グループから発表し、全体でシェアしました。簡単な解決策があるわけではないこと、立場や関係に応じて、自分自身ができることを考えることの重要性などが指摘されました。

最後に、糸魚川教員からスペイン語教育の中で避けられない「性」について、教授者として悩み続けてきた課題や、教材における「隠れたカリキュラム」としての非対称的な性について言及がありました。


参加した教員や学生からは、身近にひそむ課題を掘り下げた刺激的で重要な話題でさらに議論を続けたい、という声が多くあがりました。研究グループでは、今後も「教育におけるバリアフリーとは」というテーマで、研究会を継続して開催する予定です。



← 有森講師

各グループからの発表 →





「多様なメンバーシップを前提とした大学教育を考える研究会」

テーマ:教育におけるバリアフリーとは


第1回「性的マイノリティと外国語教育」

講師:有森 丈太郎 氏  
トロント大学東アジア学科 准教授  
本学(旧)文学部英文学科卒業・日本語教員課程修了

まとめ:糸魚川 美樹(スペイン語圏専攻)  
司会:東 弘子(国際関係学科)

日時:2019年7月24日(水) 13:00-15:00  
場所:愛知県立大学 長久手キャンパス B101


多様なメンバーが集まる教室では、  
どのような問題が起こり得るのか。  
誰もが安心して学べる学習環境を目指して、  
私達に何が出来るのか。  
今回は性の多様性と日本語教育の観点から  
このテーマについて考えてみましょう。



※参加自由 事前申し込み不要  
電子メールでご連絡いただければ、ワークショップ資料「ケース教材」を事前にお送りします。  
連絡先: [nihongo@for.aichi-pu.ac.jp](mailto:nihongo@for.aichi-pu.ac.jp) 件名に「資料希望」、本文に所属と氏名をお書きください。

主催: 愛知県立大学大学院国際文化研究科研究グループ「多文化社会と言語」  
糸魚川代表科研「外国語教育における性的少数者への配慮に関する調査研究」(課題番号19K00851)

共催: 多文化共生研究所 協力: 教養教育センター



花ひらく、未来  
1999年設立

科研費  
HARUNOJI